

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

実施期間：平成29年7月1日～平成29年9月30日

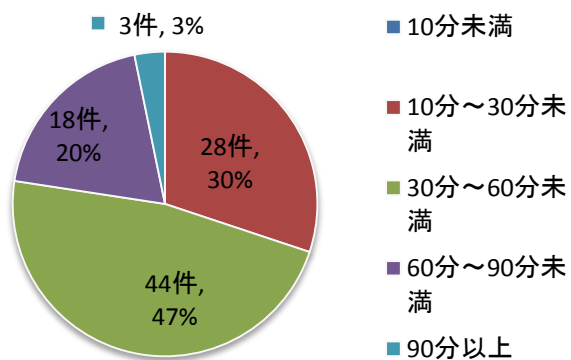
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間 平成29年7月1日～平成29年9月30日

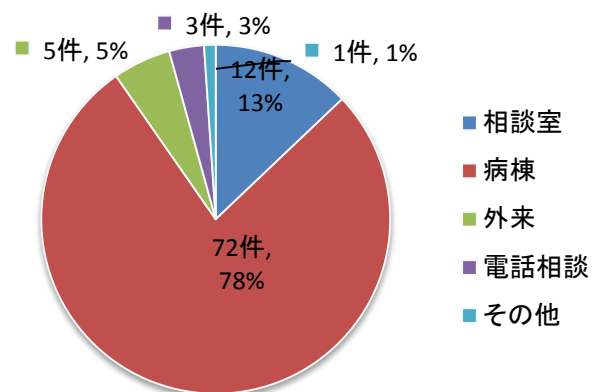
■ 調査件数 93 件

相談月	件数
7月	30
8月	33
9月	30
合計	93

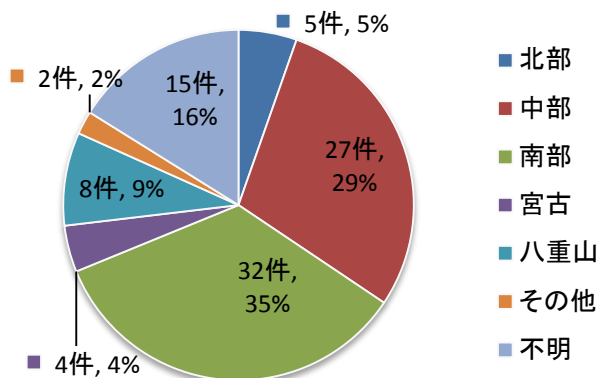
相談時間



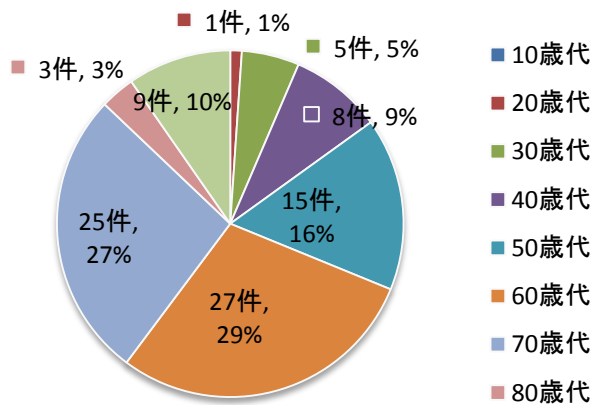
相談形式



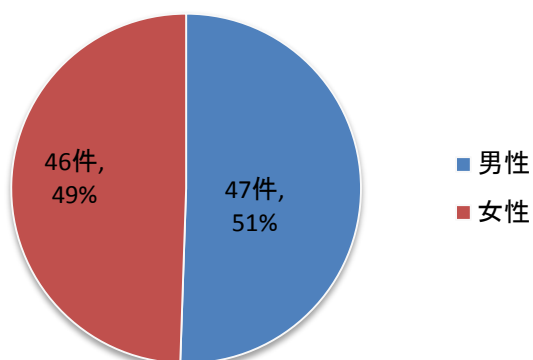
住居エリア



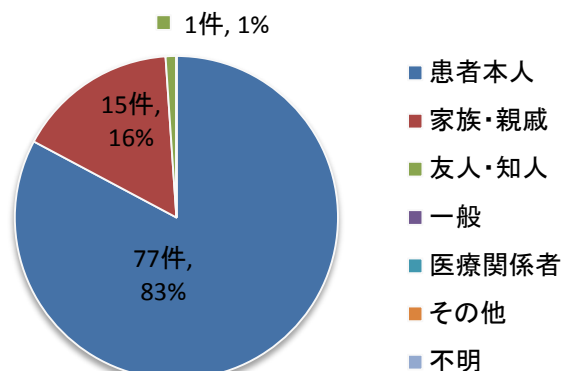
相談者の年代



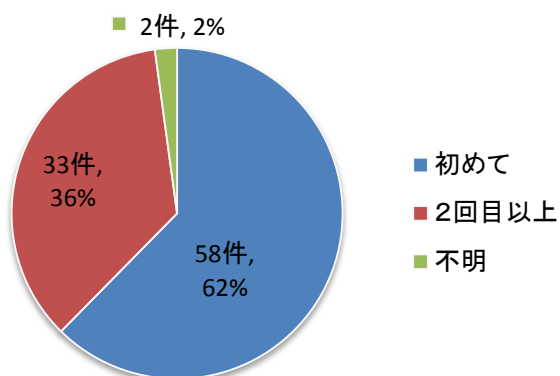
相談者の性別



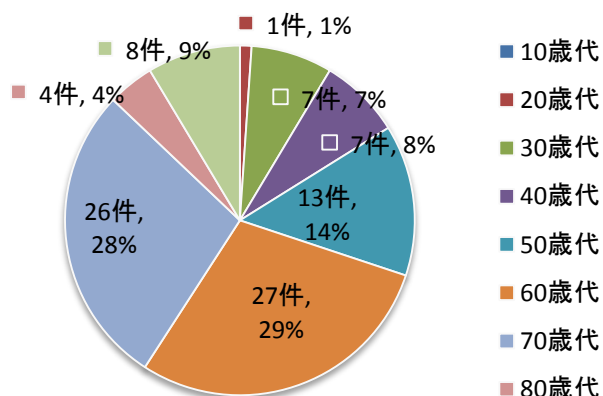
相談者のカテゴリー



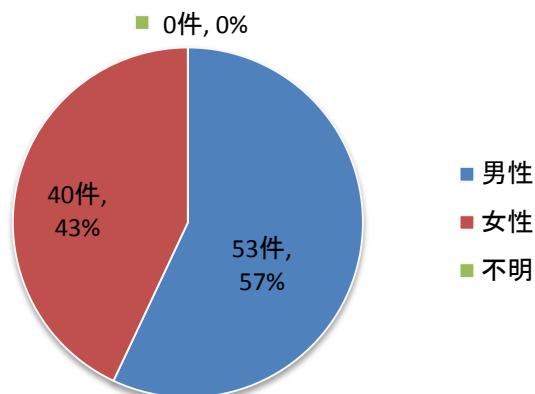
相談者の利用回数



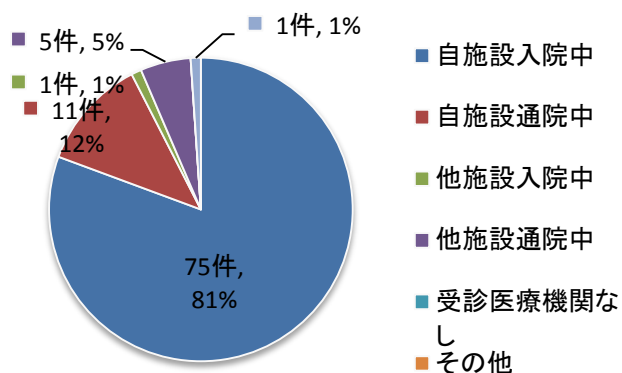
患者本人の年代



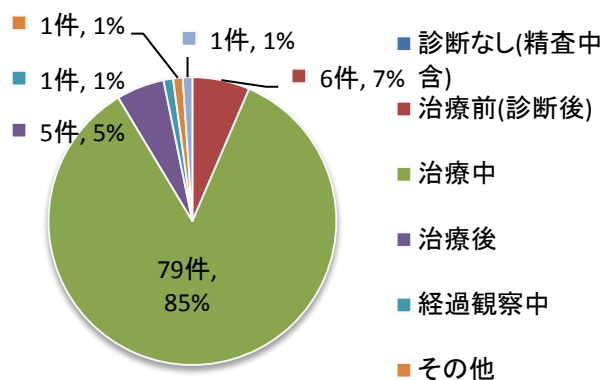
患者本人の性別



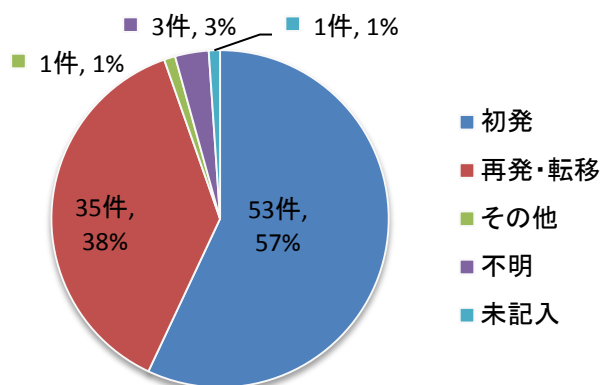
受診状況



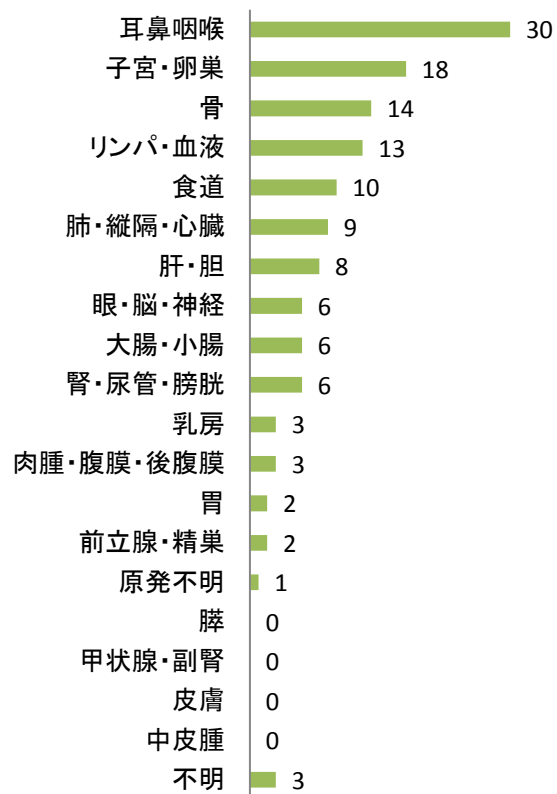
現在の治療状況



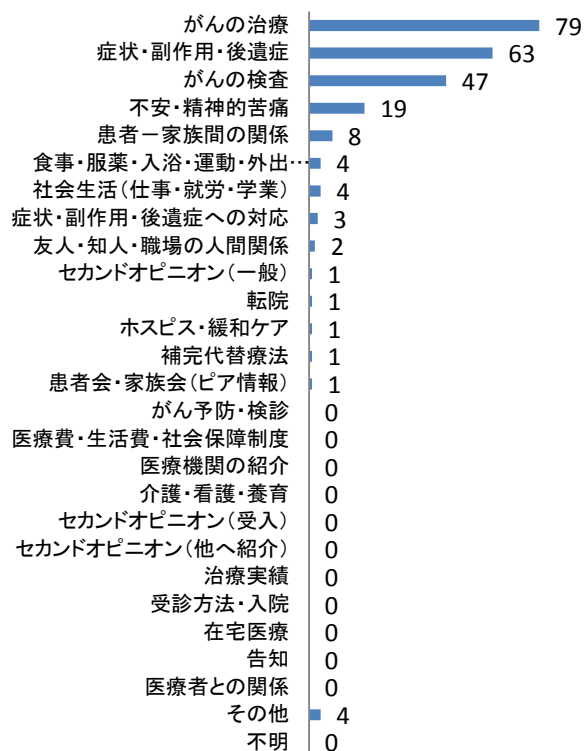
がんの状況



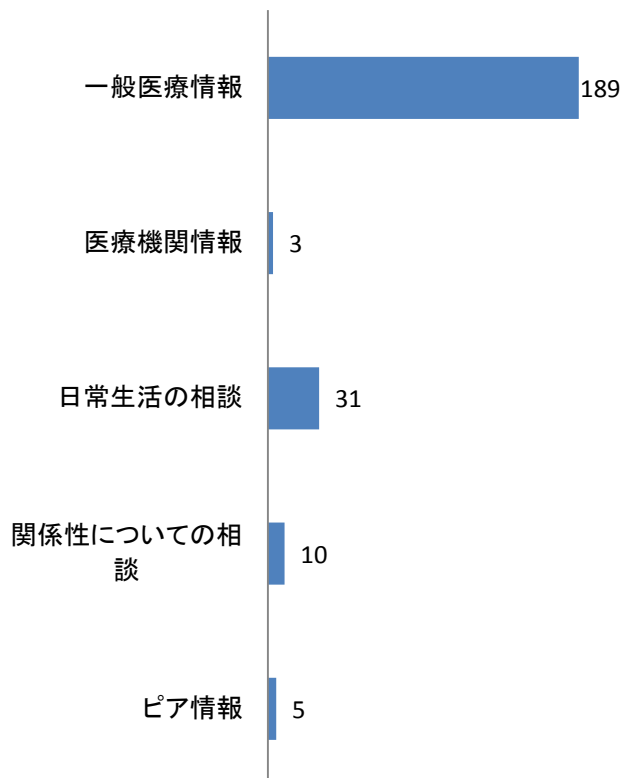
がんの部位



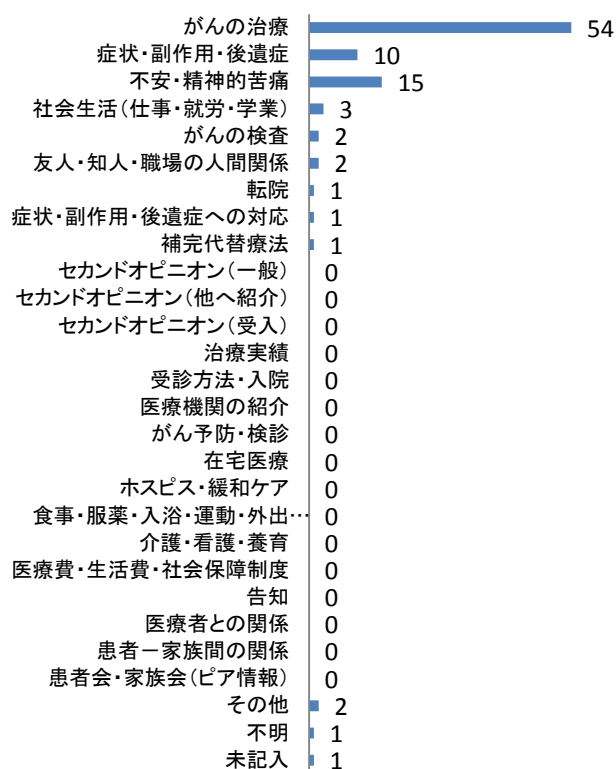
相談内容 (実施したものすべて)



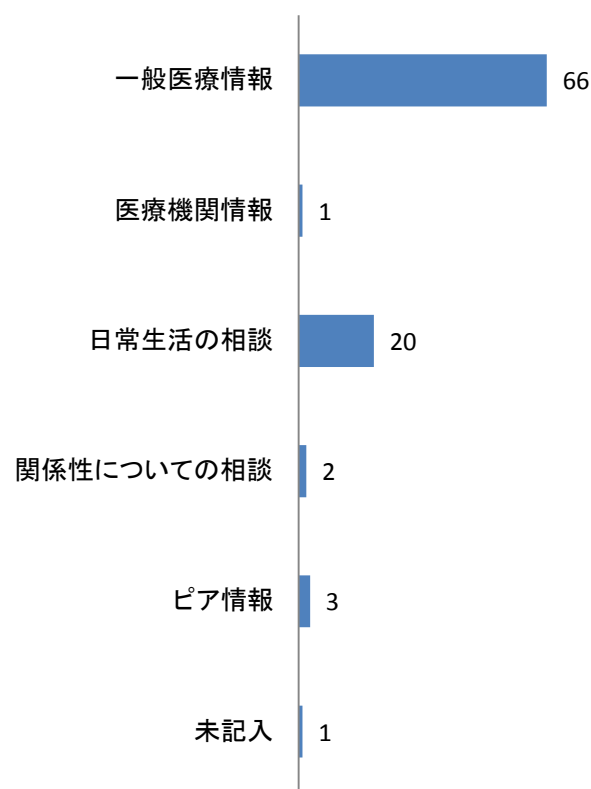
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



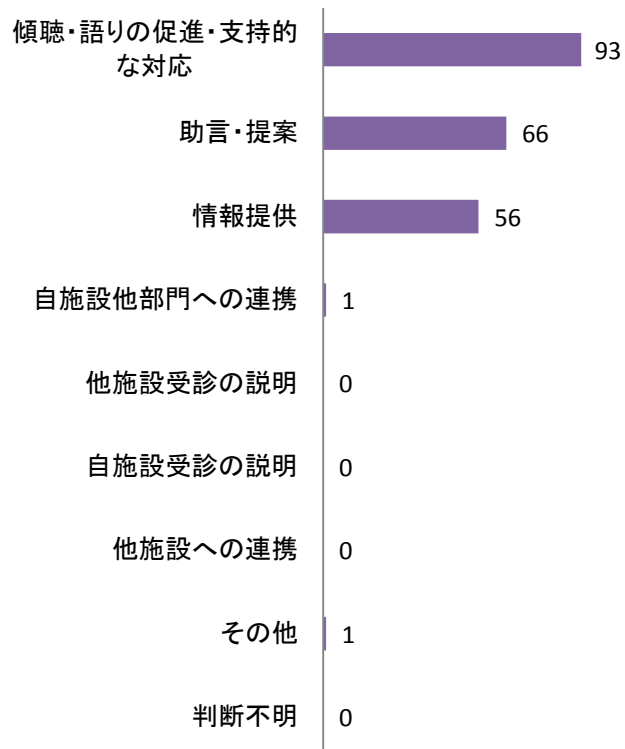
相談内容 (最も比重の高いもの)



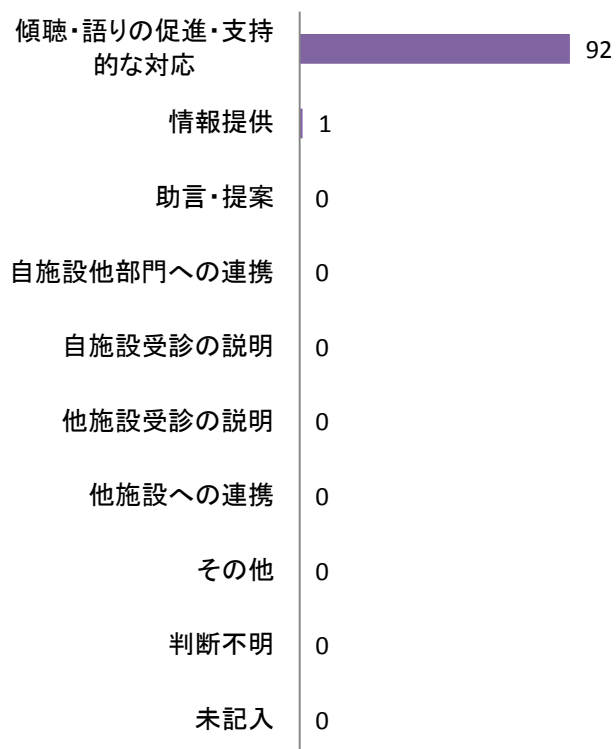
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



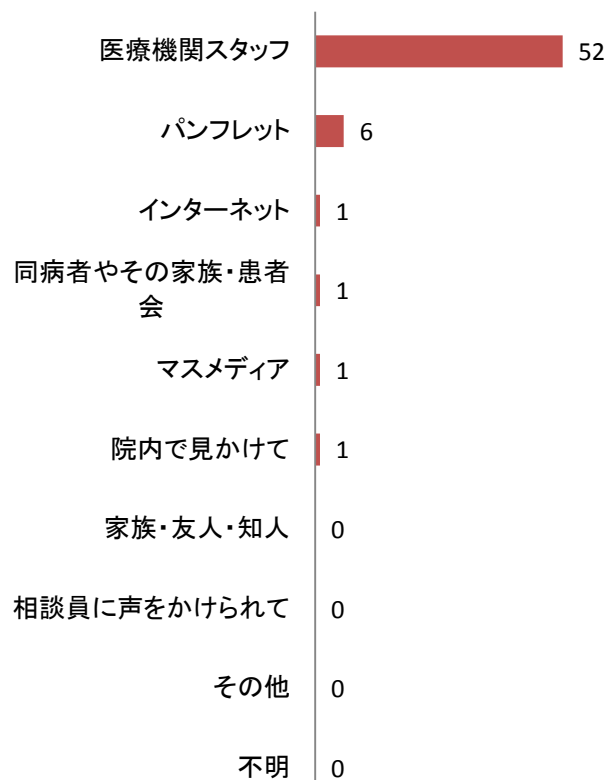
対応内容 (実施したものすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



平成 29 年度
がんピアサポーター養成講座
開催報告

実施日 1 日目：平成 29 年 7 月 22 日（土）
 2 日目： 8 月 19 日（土）
 3 日目： 9 月 9 日（土）

主催 沖縄県地域統括相談支援センター
協賛 琉球大学医学部附属病院がんセンター

開 催 概 要

- 1 名称 平成29年度 がんピアサポーター養成講座
- 2 日時 平成29年 7月22日(土) 13:00~17:40
8月19日(土) 13:00~17:45
9月 9日(土) 13:00~16:45
- 3 場所 ホテルニュー丸勝 6階 会議室
宮古島市平良字西里 303-3
- 4 対象 ①がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族
②最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方
③全日程参加できる方
④受講後、治療や仕事や生活に支障がない範囲で当センターの登録がん
ピアサポーターとして活動できる方
- 5 受講生 7名(修了生7名)
- 6 受講料 無料
- 7 目的 ①これから「ピアサポート」を始める方が、1対1での対応に関する基
本的な事項を学ぶ
②受講生同士に仲間意識を持たせ、今後のセンター及び個々の活動が互
いに連携できる環境をつくる
- 8 主催 沖縄県地域統括相談支援センター
- 9 協賛 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

プログラム

1 日目 (7/22)

開始	終了	時間	内 容	講師等、 担当者
12:30	13:00	30 分	受付、会場準備	
13:00	13:05	5 分	開講のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
13:05	13:15	10 分	オリエンテーション	沖縄県地域統括相談支援センター事務 安里 君代
13:15	13:30	15 分	アイスブレーキング	沖縄県地域統括相談支援センター事務 安里 君代
13:30	14:50	80 分	講義 ピアサポートとは何か	沖縄県地域統括相談支援センター相談員 西村 克敏
14:50	15:10	20 分	記念撮影・休憩	
15:10	16:10	60 分	ワークショップ 自分の体験を語る	沖縄県地域統括相談支援センター相談員 仲田 ひろ子
16:10	16:20	10 分	休憩	
16:20	17:20	60 分	講義 がんの基礎知識	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
17:20	17:30	10 分	アンケート記入	
17:30	17:35	5 分	おわりのあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
17:35	17:45	10 分	片付け	全員

2 日目 (8/19)

開始	終了	時間	内 容	講師等、 担当者
12:30	13:00	30 分	受付、会場準備	
13:00	13:05	5 分	はじめのあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
13:05	13:10	5 分	オリエンテーション	沖縄県地域統括相談支援センター事務 安里 君代
13:10	14:20	70 分	ワークショップ① ピアサポーターにとって大事なこと	沖縄県地域統括相談支援センター相談員 中山 富美
14:20	14:30	10 分	休憩	
14:30	15:30	60 分	講義 精神腫瘍学について	沖縄県立南部医療センター・こども医療セ ンター 精神科医 川田 聡 氏
15:30	15:50	20 分	記念撮影・休憩	
15:50	17:20	90 分	ワークショップ② より良いコミュニケーションのために	沖縄県地域統括相談支援センター相談員 橋本 佳奈
17:20	17:30	10 分	アンケート記入	
17:30	17:35	5 分	おわりのあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
17:35	17:45	10 分	片付け	全員

3日目 (9/9)

開始	終了	時間	内 容	講師等、 担当者
12:30	13:00	30 分	受付、会場準備	
13:00	13:05	5 分	はじめのあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
13:05	13:10	5 分	オリエンテーション	沖縄県地域統括相談支援センター事務 安里 君代
13:10	13:20	10 分	ロールプレイの説明・実演	●講師 沖縄県地域統括相談支援センター相談員 西村 克敏 ●ファシリテーター 沖縄県地域統括相談支援センター相談員 仲田 ひろ子 中山 富美 橋本 佳奈
13:20	14:10	50 分	ロールプレイ①	
14:10	14:40	30 分	ワークショップ① ロールプレイ①の振り返り	
14:40	14:50	10 分	休憩	
14:50	15:40	50 分	ロールプレイ②	
15:40	16:10	30 分	ワークショップ② ロールプレイ②の振り返り	
16:10	16:20	10 分	アンケート記入	
16:20	16:30	10 分	修了書授与・記念撮影	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
16:30	16:35	5 分	閉講のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田 昌人
16:35	16:45	10 分	片づけ	全員

プログラム別内容

アイスブレーキング

- ・ペアとなり他己紹介をすることで受講生がお互いを知る機会をつくる。

ピアサポートとはなにか

- ・ピアサポートの定義、ピアサポートの重要性と意義、活動内容や活動場所などを学ぶ。

自分の体験を語る

- ・ピアサポート時に自身のことを話す場合もあることから自己の体験を語れるように整理する。
- ・他の受講生が語っている内容を聴くことで傾聴を学ぶ。

ピアサポーターにとって大事なこと

- ・自分の意見を押し付けない、個人情報を守る、医療行為に踏み込まないなどのピアサポートを行うにあたって最低限知っておいてほしいことや、必ず守ってほしいことを学ぶ。

がんの基礎知識

- ・相談者の話を聴く際に知っておくと役に立つ医学的知識を学ぶ。
- ・がん診療の流れ、5大がんの基本的知識（検査法、治療法、治療後の留意点など）、がん治療（手術、放射線、薬物）、緩和ケア、補完代替医療についてなど。

精神腫瘍学について

- ・がん患者のこころの動きと対応の辞めどき、専門家への紹介の仕方などを学ぶ。
- ・緩和ケアについても再度学ぶ。

より良いコミュニケーションのために

- ・服装や言葉使いなど接遇の基本的なことから、相談者が話しやすい雰囲気を作りだすことを学ぶ。
- ・相談者の目線や表情、仕草から読み取れることや、「あいづち」と「繰り返し」の効果を学ぶ。

ロールプレイ

- ・2日間で学んだことを実習で試し、フィードバックにより良い面も悪い面も全員で情報共有することで個々の対応に活かす。

開催内容

【振り返り】

- ・初めての離島開催により受講者数が定員に達するか不安はあったものの、枠はすべて埋まったことで、離島地区でもピアサポーターとして活動したい需要があることは分かった。
- ・医療に関する講義以外は地域統括相談支援センターの相談員が務めたことで、センター内の人員で大半の講義は行えることとなった。
- ・受講者数が少ないためワークショップの時間を減らし「がんの基礎知識」と「精神腫瘍学について」の講義時間を増やしたことで、受講生の医療的な分野に関する理解が高まった。昨年度のアンケートに「もっと時間を多く取ってほしい」旨の要望が多かった2科目の改善に成功したと言える。
- ・離島開催のため会場を実際に確認することができず、圧迫感のある構造に受講生の負担となった点があった。しかし会場は昔ながらのホテルだったこともあり、受講生やスタッフが道に迷うこともなかった。
- ・2日目に沖縄県立宮古病院地域連携室の方が見学に来てくださり、ピアサポートに関する理解や関心が伺えた。
- ・受講生からは、宮古で開催してくれて嬉しい。今まで知らなかった仲間と出会えた等の感想が聞かれた。

【反省点】

- ・セミナーや研修会への参加が不慣れな受講生もいると想定して講義を進める必要があった。
- ・説明は受講生が理解したかの確認を取り、完全に理解してから進めた方が良かった。
- ・2日目はDVD上映が2本あり、時間を置いてはいるが1日で観ることで一部の受講生の集中力が途切れてしまった。
- ・ロールプレイのスタート時はグループごとに多少の混乱があった。受講生にはロールプレイの方法等だけではなく、何のために役を交代して行うのか等の説明も合せて行う必要があった。

【今後の課題】

- ・講義の理解度に個人差があるため、2日目と3日目は講義前のオリエンテーションで前回のポイントを振り返り、内容を思い出してから講義に入る流れを作る必要がある。
- ・講義の中で、今行っていることは何のために必要かという目的の説明をした方が良い。その説明を行うことで受講生にイメージさせ、理解を深めることができると考える。
- ・離島開催の際は養成講座終了後の活動のためにも、ファシリテーターを現地の病院から確保し、受講生と病院が連携する機会を持つ必要がある。

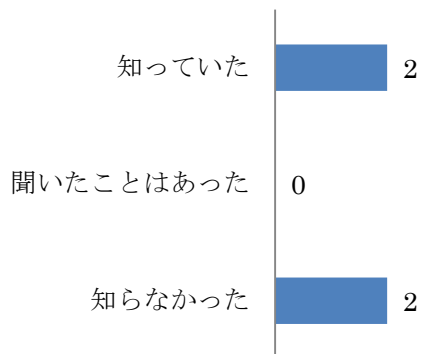
アンケート集計結果

【1日目 受講生：配布4件、回収4件】

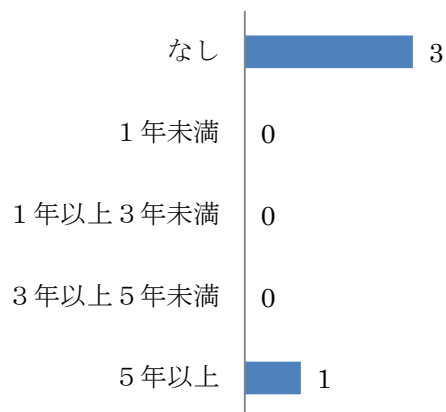
Q 1. 養成講座に参加した理由は何か

- ・ピアサポートをがんばりたいと思ったから。
- ・特に大きなきっかけはなかったが・・・(ふりかえりができてよかったと思っ
ている。ありがとうございます)。
- ・いろいろ学ぶことで自分の為にも他の人の為にも役立てると思ったこと。
- ・父と兄をがんでなくし、その時何もできなかった自分がいた。それでがんピアサ
ポーター養成講座で勉強したいと思い受講しました。

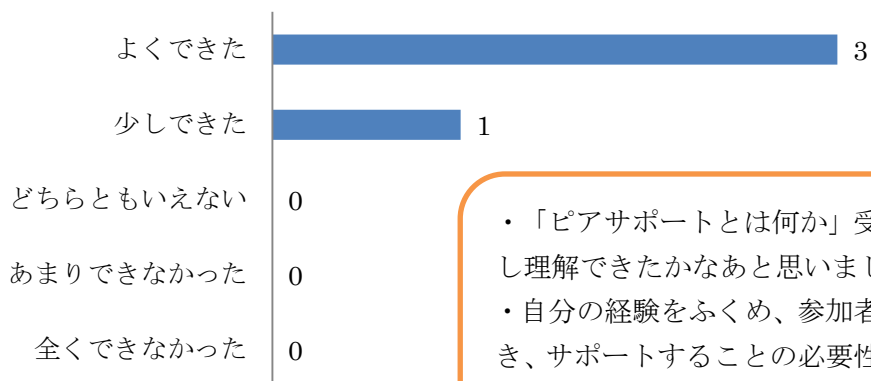
Q 2. ピアサポート活動（またはピアサポーター）を知っていたか



Q 3. ピアサポート歴はどのくらいか

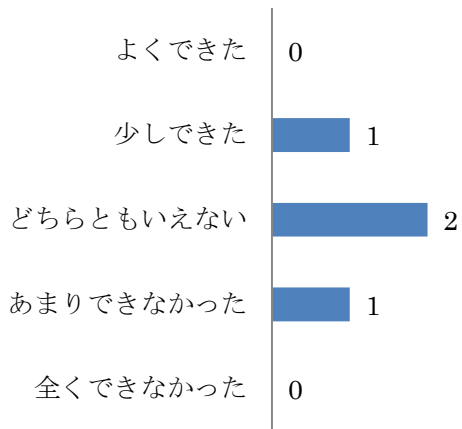


Q 4. 「ピアサポートとは何か」の内容は理解できたか



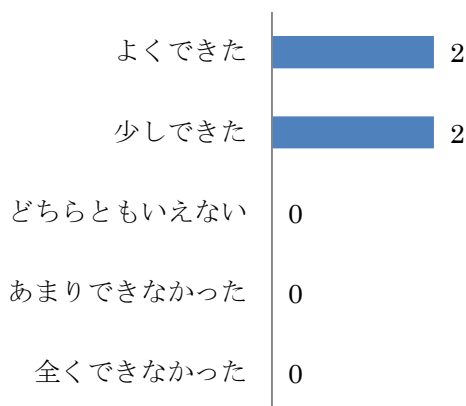
- ・「ピアサポートとは何か」受講して少し理解できたかなあと思いました。
- ・自分の経験をふくめ、参加者の話をきき、サポートすることの必要性を実感したから。

Q 5. 「自分の体験を語る」では、自分なりに語れたか



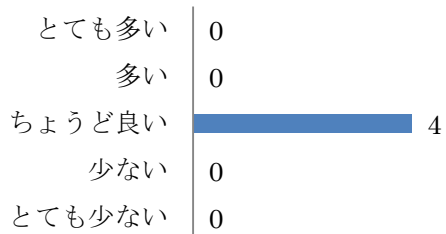
- ・時間内に要領よくまとめていいたいことを話すというのは難しいです。
- ・内容があちこち飛んでまとまりがなかったと思う。経験をふまえて今後はどうしたいかなと言わんとすることが言えなかった。
- ・泣かないで「自分の体験を」話そうと思ったがづらい。泣いてしまってもく話せなかった。

Q 6. 「がんの基礎知識」の内容は理解できたか



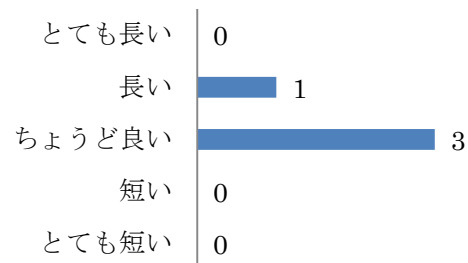
- ・ライフコースや診断と治療の基礎知識は大変よかったと思います。
- ・少しだけど「がんの基礎知識」わかったような気がします。勉強になりました。

Q 7. 1日目の講座日程（科目数など）はどうか



- ・多いとも少ないとも感じなかったし、ちょうど良いと思った。そして勉強になったと思いました。

Q 8. 1日目の各科目の所要時間はどうか



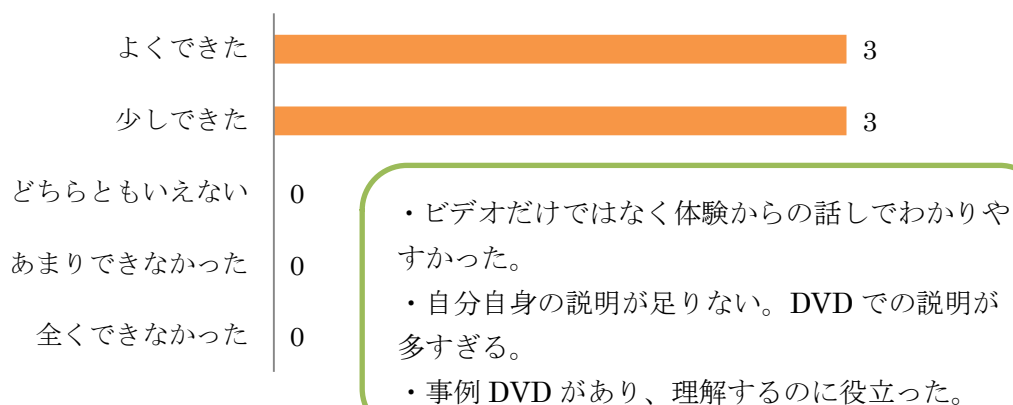
- ・ちょっと長いかなと思いました。内容はよかったと思います。
- ・ちょうど良いと思った。

Q9. 1日目の講座に関するご意見・ご感想

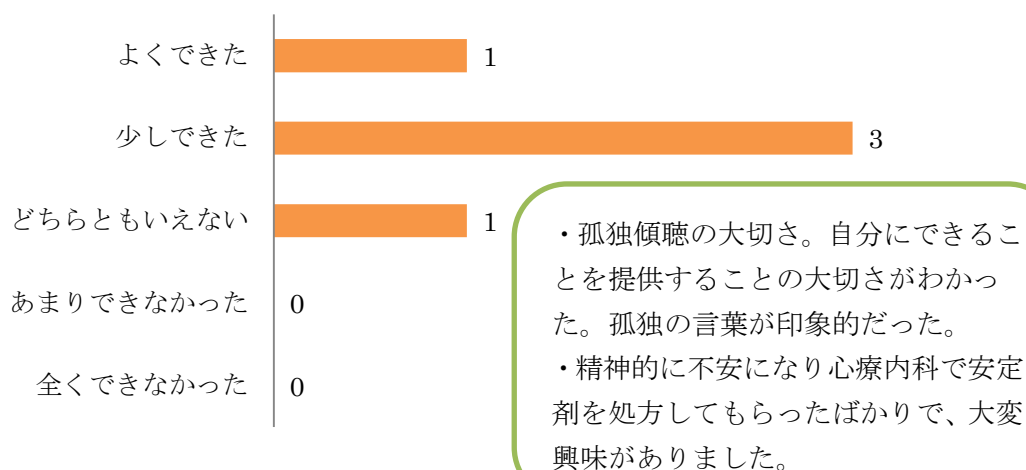
- ・クーラーがききすぎだったと思います。質問しやすいふんいきで良かった。宮古で開催していただきありがとうございます。私達はふたんなく参加できてうれしいです。1人閉所がにがてな人がいますので次回はエレベーターを使わない会場希望です。
- ・内容がよいだけに、参加者が少なくて残念に思った。細かい質問もあり、かえってふり返りができるのでよかったですヨ。

【受講生：配布7件、回収6件】

Q1. 「ピアサポーターにとって大事なこと」の内容は理解できたか



Q2. 「精神腫瘍学」の内容は理解できたか

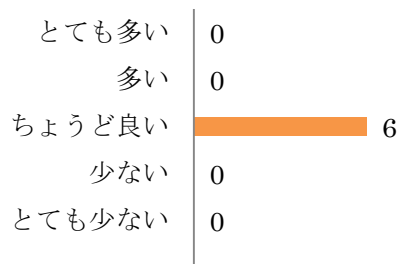


Q 3. 「より良いコミュニケーションのために」では
自分なりに参加できたか



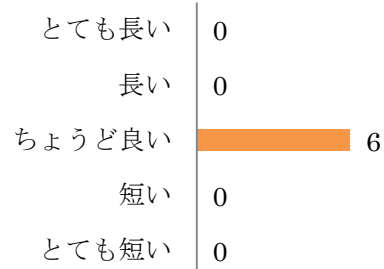
- ・自分のくせをわかってコミュニケーションをしたいと思う。話しのきき手であることを意識して行いたい。
- ・むずかしく考えなくていい。自分にできることが基本の大切さがわかりました。

Q 4. 2日目の講座日程（科目
数など）はどうか



- ・DVD の時間をもっと短くしてほしい。
- ・ちょうど良いなあと思いました。

Q 5. 2日目の各科目の所要
時間はどうか



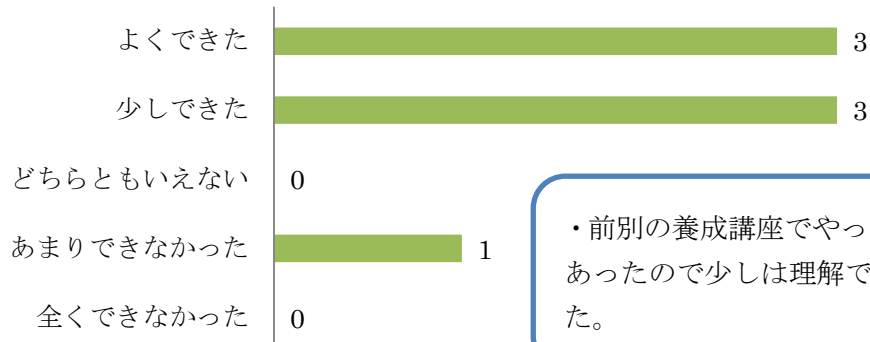
- ・科目別に時間を考えてほしい。
- ・ちょうど良い時間思いました

Q 6. 2日目の講座に関するご意見・ご感想

- ・楽しかった。講義もワークも良かったと思います。
- ・時間的には良いけど何かものたりないと思った。
- ・体験談がたくさん聞けてよかったし、サポートの仕方が理解できた。ピアサポーターとして頑張っているのが伝わってきたし、まず自分にできる事をサポートすることの大切さや自身のふり返りもできて良かったです。

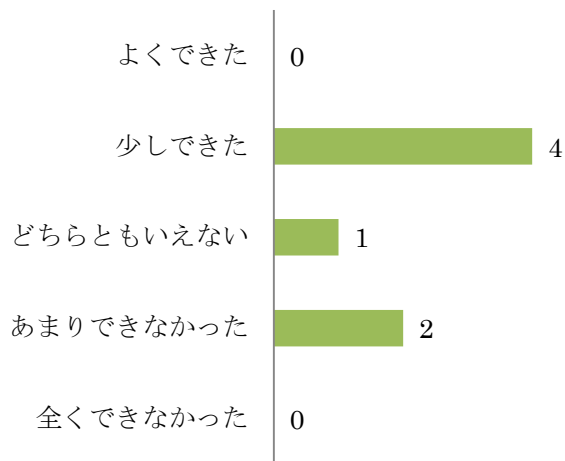
【受講生：配布 7 件、回収 7 件】

Q 1. デモンストレーションで役割分担が理解できたか



・前別の養成講座でやったことがあったので少しは理解できました。

Q 2. ロールプレイは自分なりにできたか



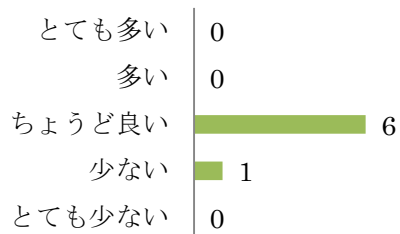
・緊張してそれぞれの役割の基本的な事も頭の中になくて、流れのままにすすめていった。

・いっぱいいっぱい相手の話を引き出すより自分が話したと反省。

・2回目にはなれて話がうまくいったような気がした。

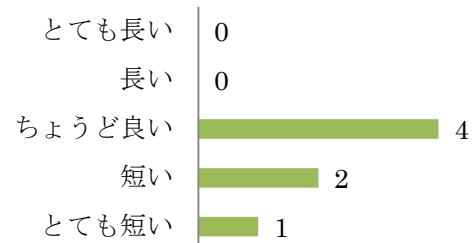
・何を話して良いのか、頭の中で整理ができなかった。

Q 3. 3 日目の講座日程（ロールプレイの回数など）はどうか



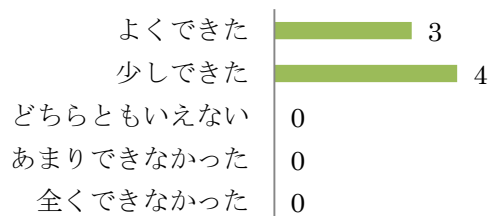
・2回程度でちょうどよいと思った。
・なれないのであまり多いと気になって後は何を話せば良いか迷う。

Q 4. 3 日目の各科目の所要時間はどうか



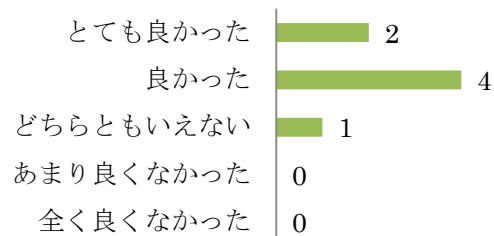
・もうちょっと長い方が良かった。理解するのにちょっと短かった様に思えた。

Q 5. 本講座を通してピアサポート活動について理解できたか



- ・もらった資料を読み返して、学習したいと思った。
- ・最初のピアサポート養成講座でしたのでついて行けなかった。

Q 6. 本講座の構成や日数、曜日、時間帯はどうか

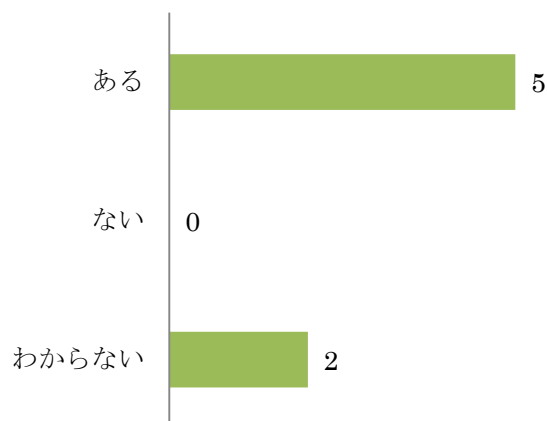


- ・曜日、時間帯はよいと思う。ロールプレイの時間がもう少し長ければいいな。
- ・土曜日が一番良いと思います。

Q 7. 本講座へのご意見・ご感想

- ・宮古での開催で負担なく参加できた。
- ・こうした講座は年に1～2回はしてほしいです。
- ・楽しい体験をありがとうございます。

Q 8. ピアサポーターとして活動する上で不安はあるか



- ・相手がちょうど大きな悩み不安をかかえている中での対応には不安を感じる。
- ・初対面の人との会話がはたしてできるのか。
- ・今が最初であまりわからない。
- ・やっぱり適切なアドバイスができるかです。

Q 9. ピアサポーターとして活動する上で安心なフォロー体制

- ・実際に経験がないので具体的にわかりません。でも実際にサポートしていくなかで学習していくものだと思います。
- ・定期的なフォローアップ。ちゃんとポイントをおさえて活動しているか。ふりかえられる場所が必要だと思う。
- ・まずは経験のある方とのペアースタートが望ましいのではないかと思います。
- ・失敗と感じた体験談。
- ・詳しく相手が安心出来る様になりたい。説明出来る事が出来る様に勉強していくつもりです。
- ・詳しい栄養管理メニュー？他の人の体験談。

Q 10. 今後、学んでみたい講座

- ・気持ちをリラックスさせる私達もかんたんにできる緩和ケア。たとえばタッチセラピーのしかた。
- ・いろんなことを勉強したいと思うので、いろんな講座を学びたいです。
- ・病気に関する講座でしたら何でも良いです。
- ・補助金の活用法

【講座 1 日目】

A group of people are seated in a circle in a room with blue curtains and a window. They appear to be engaged in a discussion or meeting. A yellow smiley face icon is placed over the face of one of the participants on the right.

▲集合写真

【講座2日目】



▲ワークショップ「ピアサポーターにとって大事なこと」



▲講義「精神腫瘍学について」



▲集合写真



▲ワークショップ「より良いコミュニケーションのために」



【講座3日目】



▲ロールプレイの説明・実演



▲ロールプレイ



▲ワークショップ「ロールプレイの振り返り」



▲集合写

【新聞広告：宮古島市内2紙に広告掲載】

[illegible][illegible]

【案内チラシ：各がん診療専門医療機関、各患者会等】

表面

平成29年度 がんピアサポーター養成講座

「ピア」とは「仲間」という意味です。
「ピアサポート」は、がんという病気を
体験した人やその家族が仲間（ピア）とし
て「体験を共有し、ともに考える」ことで、
がん患者やその家族を支援することです。
「ピアサポーター」は、ピアサポートを
行う人のことをいいます。

日時	平成29年7月22日(土)、8月19日(土)、9月9日(土) 全3日間 13時～16時(12時30分開場)
会場	ホテルニュー丸勝 6階 会議室 〒903-0212 宮古島市平島字西里303-3
受講条件 ※すべてに 該当する方	・がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族 ・最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方 ・全日程参加できる方 ・受講後、治療や仕事や生活に支障がない範囲で当センターの登録がん ピアサポーター(ボランティア)として活動できる方
定員	6名(少人数制) ※定員になり次第締め切ります。
受講料	無料
申込方法	申込用紙にご記入のうえ、FAX、電子メール、郵送または直接当センター までお持ちください。
申込締切	平成29年6月30日(金)必着

講座内容は裏面をご覧ください

体験を共有し
ともに考える
ひとをつくる

平成29年度沖縄県委託事業

主催 沖縄県地域統括相談支援センター

協賛 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

裏面

平成29年度 がんピアサポーター 養成講座 受講生募集中

日	曜日	時間	内容
7/22	土	13:00 ~ 17:40	ピアサポートとは何か、自分の体験を語るワーク ショップ、がんの基礎知識
8/19	土	13:00 ~ 17:35	精神医学について、コミュニケーションのための ワークショップ 他
9/9	土	13:00 ~ 16:45	実際にピアサポートを体験するロールプレイ

※受講決定者には、当センターより後日参加決定通知書を送付いたします。
 ※全日程を受講した場合は、修了書をお送りいたします(資格として認定されるものではありません)。
 ※講座終了後、当センターの登録がんピアサポーターとして活動に参加していただきます。

西立北小学校 那覇地方検察庁 近隣
 マグナム通り(国道30号線)
 宮古島市役所 宮古島商工 沖縄青野銀行
 下里大通り
 琉球銀行宮古支店
 西里大通り
ホテルニュー丸勝
 HOTEL NEW MARUKATSU
 〒903-0212 沖縄県宮古島市西里303-3
 約20分(車で約15分) 徒歩約10分
 ※無料駐車場あり(普通車約25台収容可能)

沖縄県地域統括相談支援センター (がんピアサポート相談室)

〒903-0212 沖縄県西原町字上原207番地
(琉球大学医学部附属病院内)

098-942-3407 (FAX 098-942-3408)

<http://www.gansoudan-okinawa.jp>